



くだまつ

社協だより

社会福祉法人

下松市社会福祉協議会

〒744-0022 下松市大字末武下617番地2

下松福祉センター内

TEL 41-2242 FAX 41-2330

<http://www.kudamatu-syakyo.or.jp/>

おもいやりのきもちが、
みんなのチカラ。



目次 (主な内容)

赤い羽根共同募金	2、3 P
第40回「愛のバザー」	4 P
善意銀行	5 P
福祉員活動	6 P
活動レポート	7 P
掲示板	8 P

皆さまの温かいご支援により、「赤い羽根共同募金運動」が10月1日から全国一斉に始まりました。10月2日、募金運動のスタートにあたり市内店舗で共同募金への協力を呼びかけました。

本年も、より良い地域づくりのために「赤い羽根共同募金運動」を積極的に展開してまいりますので市民の皆さまのご参加とご協力をお願いいたします。



赤い羽根 共同募金運動が 展開されています!

運動期間
10月1日～
12月31日

あなたのやさしさが
自分のまちづくりにつながります。

平成29年度目標額

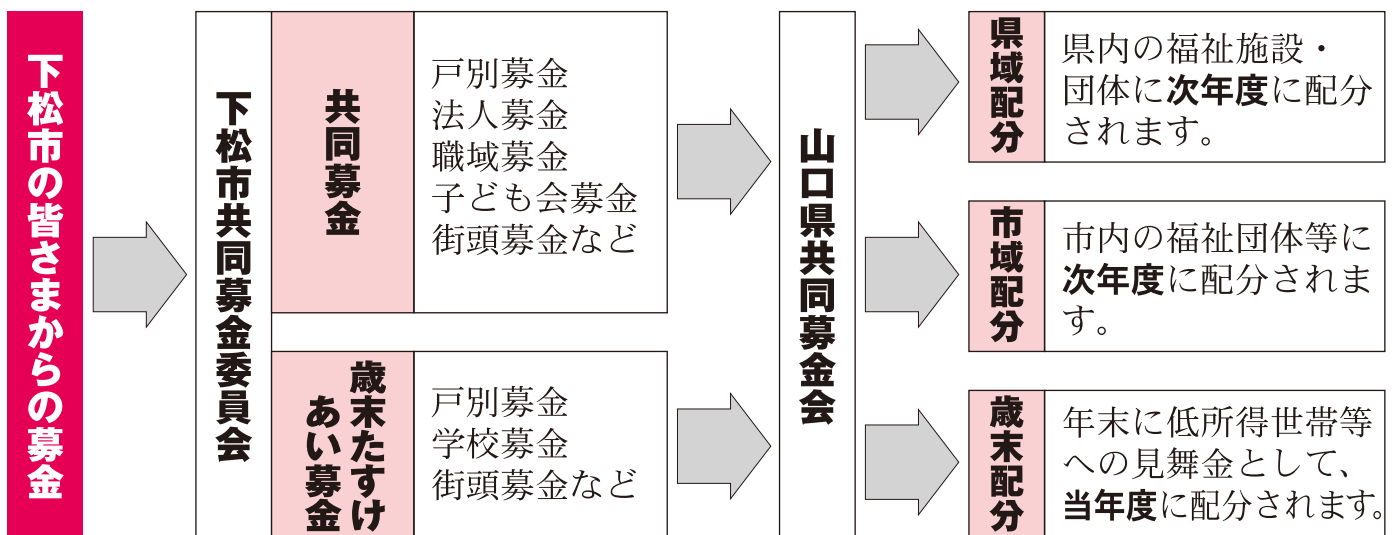
下松市共同募金委員会	山口県共同募金会
13,000,000円	381,001,000円

今年もご協力よろしく申し上げます。

今年も10月から、全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が展開されています。一人ひとりのやさしさが、私たちの町を福祉のまちにつなげていく、共同募金はそんな仕組みです。



【共同募金の流れと使いみち】



～ 赤い羽根が、あなたの気持ちを届けます ～

平成28年度赤い羽根共同募金（下松市分）配分額は **12,187,943円**でした。

赤い羽根は、私たちのまちに幸せを運んでいます。



高齢者のために
4,062,589円

一人暮らしへのふれあい弁当、
老人クラブ事業費などへ



子どもたちのために
200,000円

子ども会活動助成として



障がい者のために
1,110,000円

各当事者団体の活動を
支援する浄財として



母子家庭のために
110,000円

当事者団体への事業費として



地域の福祉活動のために
1,700,000円

地区社協の育成と活動を支援
するための財源として



**県内の社会福祉
団体等のために**
4,467,354円

社会福祉施設整備、社会福祉団体の事業へ



歳末たすけあいに
538,000円

(昨年末に配分されました)
年末施設見舞い、要支援者へ

皆さまから寄せられた募金の約65%が
市内の福祉のために役立てられています。

残りの約35%については、県内の民間
社会福祉施設・福祉関係団体の施設整備
費・事業費として配分されています。

福祉活動支援事業のご案内

赤い羽根共同募金は、

**誰もが安心して暮らせるまちづくりのために住民福祉活動を支援します。
あなたの団体の活動資金をお手伝いします!!**

山口県共同募金会下松市共同募金委員会では、市民の皆さんが活躍されている社会をよりよくする取り組みに対して、財源面から支援します。

■対象団体

市内に活動の拠点を置く団体で、住民福祉向上のための活動を、1年以上継続していること。または1年未満であっても、その活動が先駆的かつ住民福祉向上に効果があると認められる団体。

■対象事業

- 1 高齢者を支援する活動
- 2 障がい児（者）を支援する活動
- 3 児童・子育て支援に関する活動
- 4 その他住民福祉向上に寄与する活動

※ただし、団体の運営に要する経費や趣味及び娯楽性の高い備品等は対象外です。

■事業時期

対象とする事業は、平成30年4月から平成31年3月までの活動。

■助成内容

1 事業20万円を上限とします。

■審査

助成を受けようとする団体は、事前にヒアリングを受け、その内容と申請書をもとに当委員会に設置する審査委員会において審査し、助成の可否を決定します。

なお、配分決定後事業の実施に当たっては、各種資料等で明示すること。

■募集期間 平成29年11月1日～11月30日

■資料請求・問い合わせ先

〒744-0022

下松市大字末武下617-2 下松福祉センター内

山口県共同募金会下松市共同募金委員会事務局

(下松市社会福祉協議会)

TEL41-2242 FAX41-2330

まずは、ご相談ください!!

～ 安心して暮らせるまちに ～

第40回 愛のバザー 開催

9月10日、ほしらんどくだまつ（下松中央公民館）で第40回「愛のバザー」を開催しました。

「愛のバザー」は市民の皆さんに福祉活動への参加と協力を呼びかけ、善意とボランティアの輪を広げ、福祉に対する関心と理解を深めていただくとともに、福祉団体の活動や福祉事業の財源とするため、毎年9月の第2日曜日に開催しているものです。



このバザーの開催にあたっては、関係団体、ボランティアグループ、関係者の皆さんに、物品の仕分け整理、価格表示、箱詰め、前日の準備等、連日ご苦労をおかけしました。

迎えた当日は、天候にも恵まれ、会場には開場を待つ長蛇の列が出来るなど、多くの皆さんにお越しいただきました。また、販売や



ご協力ありがとうございました。



ここに物品を寄付していただきました皆さん、当日お買い上げにご協力いただきました皆さん、連日にわたりボランティアとして活躍いただいた皆さんに深く感謝を申し上げ、バザーの収支を報告します。



「愛のバザー」収支報告

◇収支

◇収入 (単位：円)	
売上高	1,810,778円
寄附金等	53,941円
◇支出 (単位：円)	
必要経費	323,346円

純利益 1,541,373円

この純利益は、下松市共同募金委員会を通し、市内の福祉事業に配分させていただきます。

善意銀行

社会福祉事業のためにと、市民の皆様から、善意銀行に
忌明けその他の厚志を含めてたくさんの善意がよせられ
ました。ここに厚くお礼申し上げます。

平成29年6月22日～平成29年9月30日 受付分(順不同)



香典返し

〈江の浦〉
故 行田 美代子様
100,000円

〈東 陽〉
友森 健仁様(御母堂)喜美子様
50,000円

〈駅 南〉
相本 美重子様(御母堂)幸子様
30,000円

〈山 田〉
橋本 智子様(御主人)昭夫様
50,000円

〈末武下〉
水車 富美枝様(御主人)浩様
100,000円

一般寄付

日立製作所労働組合笠戸支部様
203,277円

累計(62回)16,522,096円



〈南花岡〉
武田 國彦様 66円
累計(25回)5,188円

〈末武上〉
山崎 初男様 1,000円
匿名 様 307,164円

物品寄付

介護用品 1件
使用済み切手 15件
リングプル 20件
未使用葉書 2件

～ 善意銀行にご協力お願いします。～

金銭預託

- 香典返し、満中陰志に代えて
【香典返し、満中陰志に代えてご寄付いただいた場合、必要に応じて挨拶状の印刷・発送をさせていただきます。】
- 玉串料・花料の返し、見舞返しに代えて
- 結婚・誕生・入学・就職・新築などのお祝い
事の記念に
- イベントやバザーなどの収益の一部を
- その他 市民の皆様からの善意

物品預託

- 使用済み切手、リングプル、書き損じハガキなど
- 車椅子等介護用品(未使用品)

こんなことに使われています。

- ★障がい児・者、母子家庭などの支援
- ★災害等見舞金
- ★各地区敬老会行事
- ★福祉活動団体への活動支援
- ★社協だよりの発行など広報啓発

善意銀行(社会福祉協議会)への預託(寄付)は 税法上の優遇があります

善意銀行への寄付金は、所得税法上の寄付金控除が認められている特定寄付金又は法人税法上の損金算入を認められる寄付金となります。

福祉なんでも相談

相談	相談員	日時※祝日は除く	内容
行政相談	行政相談員	毎月第3木曜日 13:00～16:00	国の仕事に関することや要望など
心配ごと相談	民生委員	毎週水曜日 13:00～16:00	日常生活を送るうえでの困りごとや悩みごとなど
福祉総合相談	社協職員	月曜日～金曜日 8:30～17:15	福祉に関する相談など



あなたのまちの

福祉員さん



“だれもが安心して暮らせる住みよいまちづくり”をめざして

◇福祉員とは…

「福祉員」とは、地域住民の皆さんの中から選出され、地区社会福祉協議会長の推薦を受け、下松市社会福祉協議会長から委嘱を受けて活動する「小地域福祉活動の実践者」です。

おおむね自治会単位に配置されており、市内では約330人の福祉員が活躍しています。



福祉員連絡会議

◇福祉員の基本的な役割

◎見守る→地域の困りごとのアンテナ役

自治会活動や日常的な見守り、近所付き合いを通して、高齢者や障がい者、小さなお子さんがいる世帯などで、困りごとを抱えていないか気かけます。

◎つなぐ→関係者へのハウ・レン・ソウ（報告・連絡・相談）役

地域の困りごとを民生委員・児童委員や自治会長、地区社会福祉協議会、関係機関などへ報告、連絡し、相談につなげていきます。また、担当地域の人や知り合いなどから相談を受けた場合は、福祉に関する情報を伝えます。

◎参加する→地域の人への呼びかけ役

地域での福祉活動に自ら参加するとともに、周囲の皆さんに支援等と呼びかける役割もあります。

サロン活動紹介コーナー

大藤谷ふれあいきいきサロン

- 【場 所】大藤谷老人集会所
 【開 催 日】毎週水曜日 10:00~12:00
 【参加人数】15人程度
 【内 容】グラウンドゴルフ、健康教室など



【メッセージ】

参加者の希望を聞きながら計画を立てており、身体を動かすことや簡単なゲームをしながら、みんなで楽しい一時を過ごしています。また、偶数月の第4水曜日には昼食会を行っています。

切山サンパ

- 【場 所】切山集会所
 【開 催 日】毎月第1水曜日 9:30~11:30
 【参加人数】20人程度
 【内 容】講座、趣味活動



【メッセージ】

体操やおしゃべりを楽しみ、みんなで集まることで元気ももらっています。また、絵手紙を学んで、地域の一人暮らしの高齢者へ暑中見舞いや年賀状を出す活動を行っています。近隣の方とのつながりも深いサロンです。

活動レポート 写真とともに紹介します

サロン講座



7月25日、下松福祉センターで、ふれあい・いきいきサロンの世話役の皆さんを対象に「イスを使ったくだまつサンサン体操」体験講座を開催しました。40人の参加者からは、「わかりやすく楽しかった」「サロンに帰ってみんなでやってみよう」との声も多くあがっており、今後のサロン活動に活かせるレクリエーションを学ぶ有意義な時間となりました。

サマースクール



夏休みの3日間を活用して、中学生と高校生を対象に、福祉施設での体験学習を通し、社会福祉への理解と関心を高めることを目的とした「サマースクール'17」を開講しました。

初日は、下松福祉センターで、ボランティア活動やコミュニケーション技法について学びを深めました。「福祉についていろいろ分かったのが良かった」「色々な人との接し方を学べた」といった声が聞かれました。そして、学んだことをもとに、市立の3保育園と第1しょうせい苑で実習を行い、園児や利用者とのふれあいを通し、福祉への想いを強くしていました。

災害ボランティア養成講座



8月20日、下松市地域交流センターで被災地の復興支援活動について考えることを目的に、高校生を含む73人の参加を得て、周南・光・下松市社協共催による「災害ボランティア養成講座」を開催しました。

日本赤十字社職員より「災害救護」についての講義を受けた後、災害ボランティアセンターの役割と災害ボランティア活動について学び、模擬訓練として災害ボランティアセンターの運営スタッフを体験しました。模擬訓練では「体験する事で理解が深まった」という意見も聞かれ、参加者は真剣な面持ちで取り組んでいました。

東陽地区敬老会



下松市では9月から10月にかけて、77歳以上の高齢者の長寿と健康をお祝いする敬老会が各地区で開催されています。

9月18日の敬老の日、東陽コミュニティーセンターで東陽地区敬老会が開催されました。参加者74人に記念品が贈呈されたあと、手品やアトラクションなどの催しを地域の皆さんと一緒に楽しみ、長寿を喜び祝いました。



掲示板



平成29年度

「下松市社会福祉振興大会」

【日 時】平成29年11月30日(木)
13:30~15:30

【場 所】スターピアくだまつ
展示ホール

入場
無料

【内 容】 手話通訳・要約筆記あり
式典 13:30~

開会行事・功労者表彰

講演 14:00~

【講師】長久寺 住職

有国智光氏

【演題】「いのちのねがい」



問い合わせ先 下松市社会福祉協議会
TEL 41-2242
FAX 41-2330

小さな親切

7月26日、下松福祉センターで平成29年度「小さな親切」運動実行章伝達式が行われ、推薦を受けた7人の実行者（欠席4人）にその善行を称え実行章が伝達されました。

受章者

- ・岩本 幸雄(笠戸島)・藤井 一義(河内)
- ・河村 鈴子(緑ヶ丘)・平松 隆(南花岡)
- ・野上 忠正(東豊井)・田中 初美(東豊井)
- ・國居 節子(東豊井) <敬称略>

皆さんの地域で心温まる親切な行いをした人を見かけましたら推薦してくださいませようお願いします。



ボランティア探訪



腹話術小鳩会

毎年恒例となっている「夏休み親子の腹話術・手品体験講座」が3日間の日程で下松福祉センターで行われました。

この講座で、腹話術の発声方法や人形を使った体験、会員による腹話術やマジックショーの実演が行われるなど子供だけでなく大人も、見入って感嘆の声をあげていました。楽しく学べる講座をあなたも体験してみませんか？



えくぼの会

えくぼの会は、認知症の家族を支える人たちが認知症と向き合い、同じ悩みを持つ人が話し合う会です。

7月13日の集いでは、災害支援についての研修後、参加者同士の情報交換がありました。交換会では1人ずつ話をする時間があり、苦労や悩み事を相談される人、ご自身の近況を話される人、何も話されずパスする人など、和気あいあいと自由な雰囲気でお互いの話を聞き合っていました。参加者の多くが「リフレッシュする時間」としてこの会に集っているように感じました。

